

## 「デジタルツールを活用した自治会活動」のモデル事業アンケート結果

全体

対象者：北迫町及び音戸町早瀬区、安浦町女子畑自治会の会長、役員、その他自治会員：299人

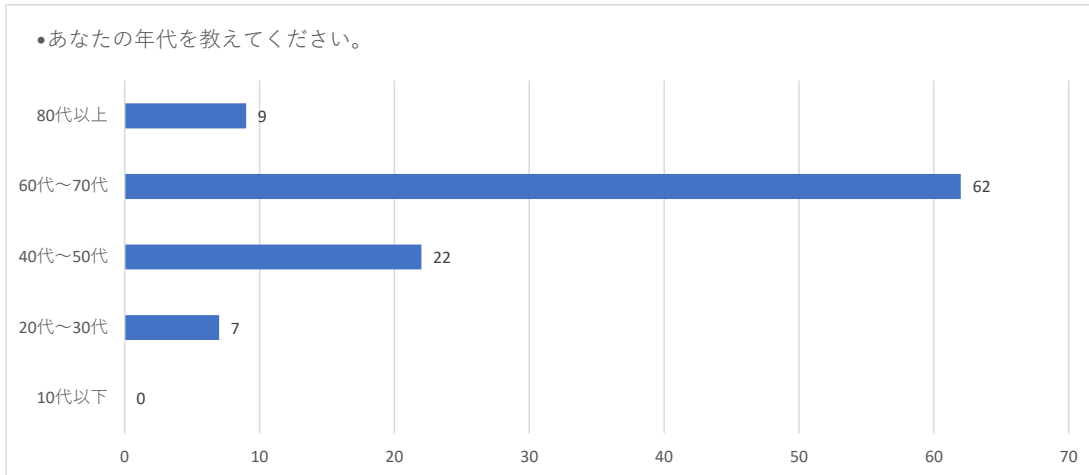
調査期間：令和6年2月5日～2月19日（結ネットアンケートフォーム）

回答者：100人

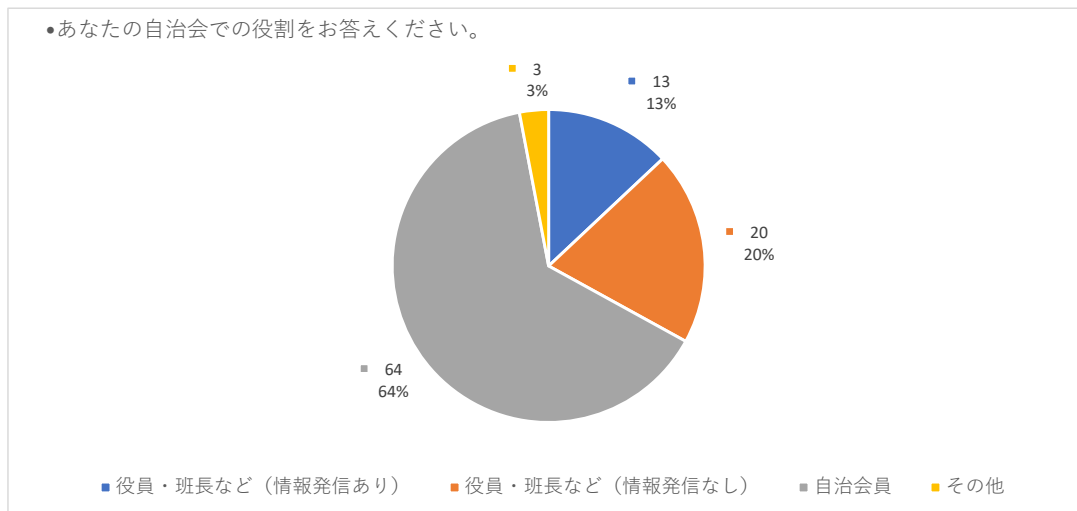
回答率：約33%

グラフ中の数値単位は「人」

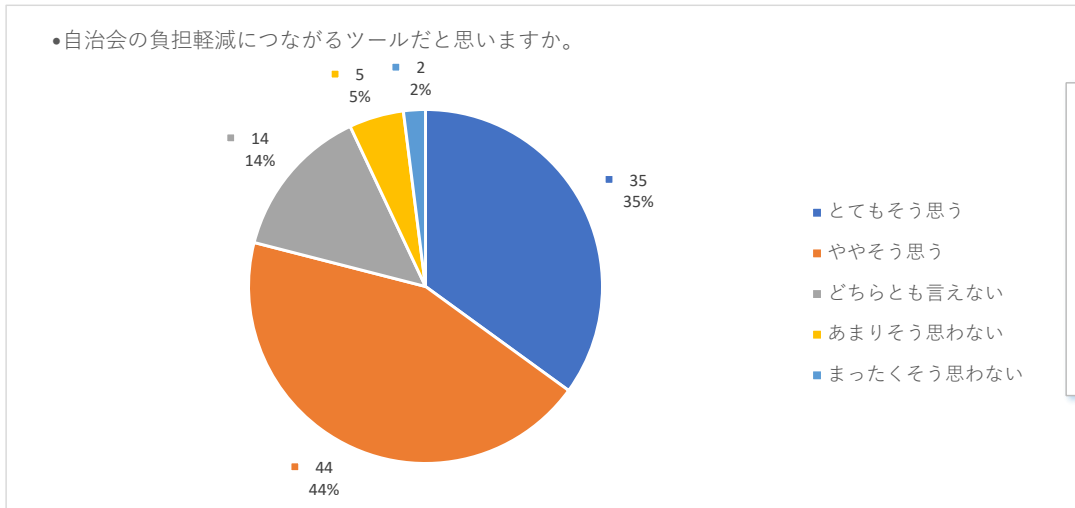
### ○回答者の年代について



### ○回答者の自治会での役割について



○有効性・効果について



負担軽減に繋がるツールだと思う（とてもそう思う・ややそう思う）という意見が8割程度あるが、一方でアプリを使いこなせるかへの不安や、紙媒体等を併用しなければならないことへの負担についての懸念の声もある。

○とてもそう思う理由：集計するのが容易。

○ややそう思う理由：

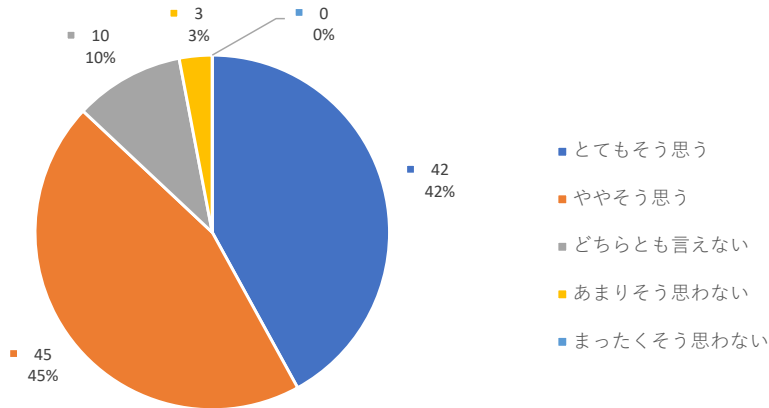
- ・全員が使えるとかなりの軽減になるが、使えない人がいると紙とアプリの両方をしないといけないから。
- ・紙情報発信の負担は軽減するが、デジタル情報発信、システム管理、会員サポートの負担（役割）は増える。デジタル系に強い役員の有無によって効果は変化する。
- ・不在の場合でも、お知らせが出来るから。
- ・印刷の費用や配る労力、役員、自治会員への負担軽減にはつながると思うが、投稿者も大抵決まっておられその方への負担は大きく、みんなでサポートできる体制づくりも必要なのではと思う。
- ・スマートフォンを持っていない人もいるから。
- ・全戸が参加するなら、回覧の負担はなくなるだろうから。

○どちらとも言えないと思う理由：

- ・使いこなせるといいと思うが、そこまでいくのに時間がかかるのではと思う。
- ・全員が閲覧しないと結局放送や回覧をすることになるため。
- ・紙媒体の方が安心（読みやすい）。

○まったくそう思わないと思う理由：アプリが使えないから。

•自治会活動において、情報提供などに役立つツールだと思いますか。



役立つと思う（とてもそう思う・やや思う）が9割程度である。

○とてもそう思う理由：

- ・発信したら30秒で既読がつくので、発信者としてはやりがいがあるから。
- ・フルに活用できれば、情報提供の速度、量、質のいずれの面でも有効なツールとなるから。
- ・留守で連絡がつかないということがないから。
- ・記録に残っているため、いつでも確認できるから。

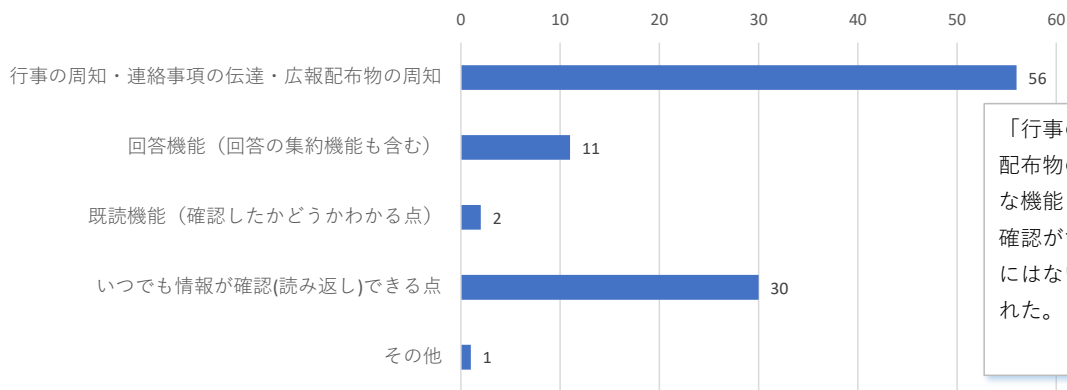
○ややそう思う理由：

- ・即時発信や返信・集計も出来るのが良いから。

○どちらとも言えないと思う理由：

- ・使いこなせれば良いと思うから。
- ・このアプリでしか見れない地域の情報や、新規店舗の紹介、空き家情報、地域としてやってみたいこと、人材発掘などこの地域ならではの情報などが見れるアプリになれば登録者も増え、地域に興味湧き、有用性がかなり出てくるのではないかと思う。

•最も便利だと感じた機能は何ですか。

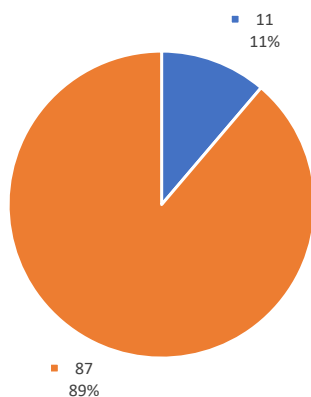


「行事の周知・連絡事項の伝達・広報配布物の周知」が過半数の回答で便利な機能と評価された。また、いつでも確認ができる点についても、従来手法にはないメリットで多くの方に評価された。

○回答機能：情報を提供するだけでなく、「回答」という形で会員の意見を把握できること、また、会員が「回答する」という形で主張/参加できるという点で非常に有効。

○その他：管理者や役員の方に直接相談ができる点は大きいと思う。これから何かやってみたい人や、イベントとしてやって欲しいことなどを、抵抗なく気楽に書き込みできる場所になればもっと利用価値が上がると思う。

•追加,改善して欲しい機能は何ですか。



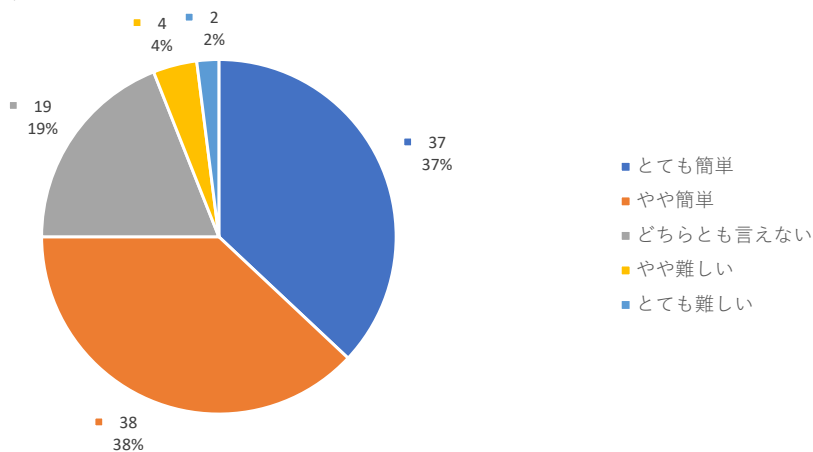
■ ある  
■ ない

追加, 改善してほしい機能が  
ないと回答した人が9割程度  
であった。

- 宛先指定発信における「グループ登録」機能。
- アンケート回答における「複数選択」機能, 及び「順位付け回答」機能。  
(他の設問で回答のあった機能に対する意見)
- テレビ画面への表示。
- 写真で報告する場合の置き場所の設定。
- 投稿中に別のアプリを見ると書き込んでいたことが消えてしまう。

#### ○操作感について

•操作方法について, 使用した感想をお答えください。



■ とても簡単  
■ やや簡単  
■ どちらとも言えない  
■ やや難しい  
■ とても難しい

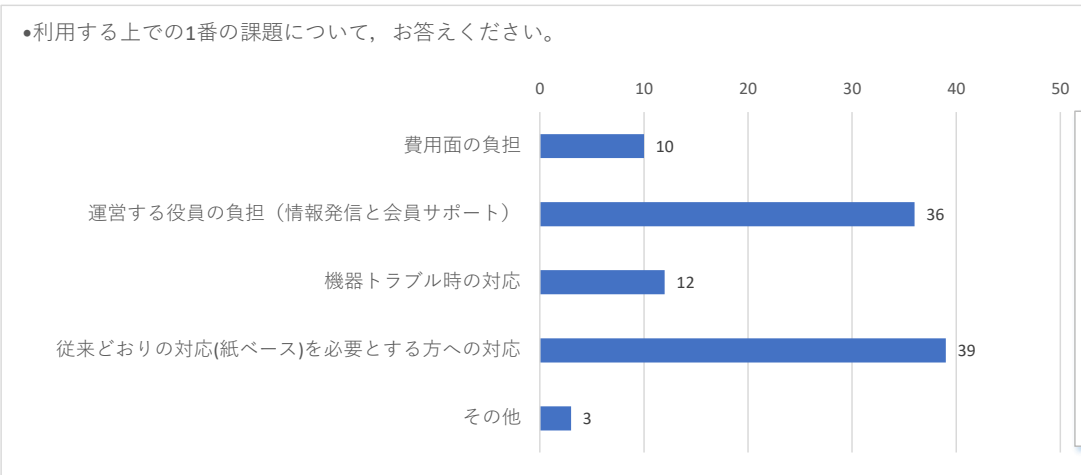
簡単(とても簡単・やや簡単)と答えた人が7割を超え、  
前回のアンケート(R5.4月実施)より簡単と答えた人が2割ほど増えた。

○やや簡単と思う理由:

- ・投稿中に別のアプリを途中で見ると、書き込んでいたことが消えてしまう。キープしておけば良いが、再度見たい記事がどこに入っているのかわからない時が多く不便。
- ・字が小さくて読みづらい。
- ・短い文章なら簡単に利用出来るが、文章が長いと手間がかかるため。

○どちらとも言えない理由: 発信毎の「宛先設定」は煩雑。特に、頻繁に発信する役員にとっては「グループ登録」は必須機能である。

○利用する上での課題



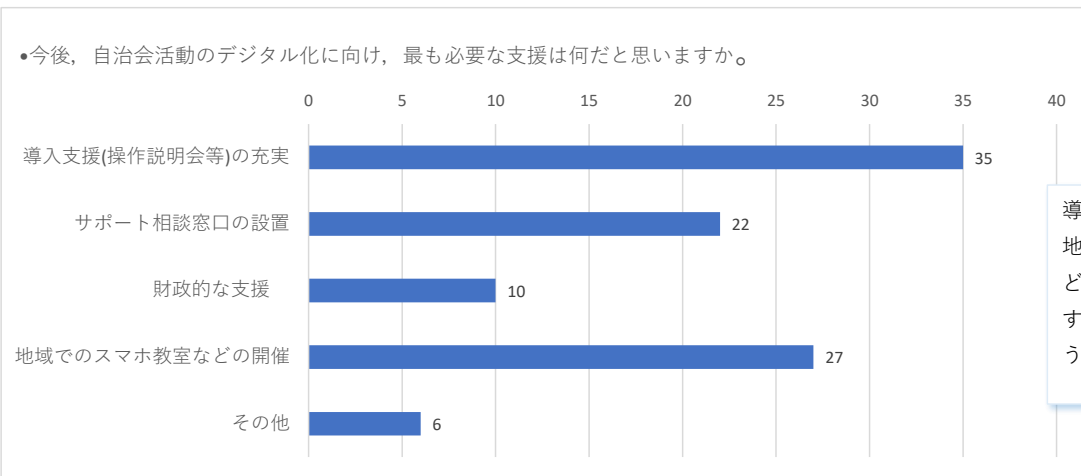
従来どおりの対応（紙ベース）を必要とする方への対応をどうしていくかが1番の課題として捉えられていた。また、情報発信と、紙媒体を必要とする方への対応をしなければならない役員側の負担も課題に挙げられている。

○費用面の負担：結ネットを使う人と使わない人で差が出ると思う。必要なければ費用を出したいと思わない。また投稿される管理者などはだいたい決まっており、その方への負担は大きいのではないかと思う。

○運営する役員の負担（情報発信と会員サポート）：情報発信すればするほど利用者には感心が高くなるが、発信者の情報収集と手間に時間がかかる。

○その他：・デジタルツールによる「情報発信の量/質」の向上と釣り合うレベルの「従来方式の紙対応」が必要になる。

○取組を広げていくためにどのような支援が必要と思うか。



導入支援（操作説明会等）や地域でのスマホ教室の開催など、アプリの操作方法を習得するための支援が必要だと思う人が多かった。

○導入支援（操作説明会等）の充実：

- ・とにかくトップ（呉市では市長、自治会では自治会長）のやる気が重要。
- ・経費がどのくらい必要なのか不安。

○財政的な支援：この地域に何が必要なのかを炙り出し、そのツールに対しての費用対効果がどれくらいあるのかなど検証し、必要な財政的な面を支援した方がもっと利用価値のあるものになるのではないかと思う。

○その他：

- ・アプリの使用が難しい高齢者へは結局紙の回覧しか無いと思われる。
- ・高齢者の方は操作が難しいと思うため、その方たちへの支援が必要。

○自由意見

- 高齢者が多いので、操作が出来ているか今一度講習会を開催するとよいと思う。
- 高齢者の一人暮らしで操作出来ない人をどうするのか？これが一番の問題だと思っている。
- 導入、運用いずれも難しいと思いますが、地域のつながりも大切にできると良いと思う。
- 総ID数を20,000IDに早急に増やし、利用単価を下げるべき。
- 情報弱者と言われる人はゼロにはならないと思うので、100%普及の道ではなく、併用を前提とした運用を考えるべき。
- 通知回数を考慮してほしい。
- 積極的に新しい活動に参加していく姿勢はとても良いと思う。デジタル化にすることで、地域との密接度が簡素化してしまう可能性も否定はできない。デジタル化により地域としてまとまれる、年齢関係なく縦横のつながりがもっと広げられるような地域づくりができればと思う。アナログにもデジタルにも良い点悪い点はあると思う。その中で、自治会員一人一人が積極的に地域と向き合える、その為の自治会のあり方、地域として支え合っている「社会的処方」の考え方ができるような「地域づくり」がもっとができればと思う。